

(20180602 練習メモ)

「島よ」

- P4 「あおいひびに」でテンポが速くならないように 「とりまかれて」の三連符を急がない
- P5 Bass 「へだてられ」の[れ]はエの母音をいい響きで鳴らす 「ただひとり」では歌い収める
- P6 Sop. 「たえている」の[た]の語感（その前の dim.のあとの T に圧力をためて）
「あこがれと」「あまたの」しっかり その後の「めに」は p で慎重にくっきり、全パート合せて入る
- P8 男声の「しまよー」は三拍目でキッチリ切る（ピアノの装飾音に掛からない）
- P9 Sop. 「なみの」8分休符で N を言う「ことばに」の前に休符が入ってもいいので、Ko をハッキリ
- P12 Alt. 「かすかにけむる」プレスを深くいれて、たっぷり
Sop. 「ああ だが どこに」 Da Do の D をもっとハッキリ
- P16 Bass 「なぜ なぜ なぜ」声を暗めに
下の段 内声 は効果音のように、いわば金属的に
- P19 「ひっそりと」の[そ]の s を早く言い過ぎない（隣の人より早く言わない）
- P20~21 Alto はもっともと言葉を鋭く（Bass のように）
- P24 「このきょうき」の Ky をもっとも
- P27 Sop. 2 回目の「いくたびも」の音、高めに
- P28 Alto 「そがれ けずられ」は地声でいいので、和音の変化をはっきり
- P32 「いらだち」もっと引き締まって [ち]の Sop. もっと高めに感じて
- P39 「をー」楽譜は見ないで指揮を見る（全員一緒に切る！）
- P43 「しゃくねつのなだれ」一音一音 cresc. (アクセントも付けるつもりで)
- P43 から P44 「すみれ むらさき (Adagietto dolcemente)」への気持ちの切替えを早く
ざわついた感じを残さないように
- P48 「かえってく」の 5 連符はのったり歌わない
- P56 Sop. 「そがれ」の[そ]は、半音上の Ais です（H と勘違いしている？）←Alto と短 3 度でハモル

※

今日は女声前列、男声後列という並びで、各パートに割り当てられたメロディーを如何に歌うかに集中。

※

コーラスの四つのパートの聴きあいは勿論、久邇先生のピアノのテンポや息づかいにもっと耳を向けながらアンサンブル出来るようになったら、もっと「ドラマチックな島よ」になるはず。

何種類かの音源を聴くもよし、楽譜をいつも携帯するもよし、更に集中して歌えるようにしたい！

※

最後の「わたしではないのか」の Bass Solo は、一人一人の個性的な声と表現を聞かせてもらいました。そして、彼らが一緒に歌うとアカデミーのベーストーンになるのだからスゴイ！と思いました。

「帆を上げよ、高く」

1. 翼よ、お前の空を翔けろ

つばさよ：どの言葉も明瞭に、等質に。[U] [A] [A] O]の母音を響かせてから p(t°A)に持っていく
p(t°A)になっても身体を使って音を保つ

16 分音符：先ず一人一人がちゃんとカウントする→「それが出来た人が指揮を見る権利がある！」
ヤミクモに歌わない、粒を揃えて明瞭に発音

19 小節目から全音符を歌うパート：9 度の和音を f (フォルテ)でしっかり決めて確実に dim.

練習番号 c：「ときをよめ」の[を]は wo, [よ]は iyo のように発音してクリアに 「め」は 16 分音符
99 小節～100 小節目の「ゆうきを きたえよ」：cresc.して止める。空白を作って//soli の「かぜを知れ」

3. 帆を上げよ、高く

冒頭のソロ Bass solo:三浦さんか荒木さんのどちらか

Sop.solo:藤江さん(アンダー橋本さん) Ten.solo : ベースの伊藤さん

P22 の入りは、前のページの Andante con moto のピアノのアルペジオからつながってすーっと入る

36 小節から cresc. するが、38 小節は mf (f ではない)

42 小節でまた p に落として 48 小節の f に向かって cresc.(ここまで f はないので抑え目に歌う)

練習番号 H から f f で歌い出すが、97 小節で f に落とす (96 小節の 8 分休符をキチンと休む)

104 小節から 105 小節の f f → m f も同様

2. 春愁のサーカス

8 小節目 Sop.「おとをあびるきみ」rit.をして Alto に渡す 9 小節は accel. 前へ前へ

P35 Sop.「きみの」の[き]の Cis は その前の Ten.と一緒に歌ってもいいので、シッカリ音を取る

51 小節目の[き]は D、キチンと歌い分ける

※

6月8日(金)は現役の「帆を上げよ、高く」の練習にOBも参加します。

9日(土)は信長貴富先生ご来席の予定です。混声版編曲をしてよかった、と思っただきたいですね。

※

まだまだ不安で不揃いの箇所が見られますが、音源を聴く、キーボードをたたくなど、自分が得意な方法で自習をして、GPを入れてあと三回の練習に臨みましょう。

2018.6.5

文責：関@Sop